

情報通信審議会情報通信技術分科会  
電波有効利用方策委員会

VHF/UHF帯電波有効利用作業班・放送グループ第三回会合

# 放送グループ検討課題に対する見解



2007年4月12日

デジタルラジオ  
FMコミュニティー放送

# VHFローバンドについての見解

## デジタルラジオ

2006年12月開催の第4回電波有効利用方策委員会への提出資料中において、使用周波数帯域として「VHFハイバンドを最も望ましい周波数帯」とする一方、「VHFローバンドは第2候補となる周波数帯」としていた。

## FMコミュニティー放送

2007年2月開催の第5回電波有効利用方策委員会への提出資料中において、「要求バンド幅は90～108MHzとし、より有効な電波利用を希望」していた。

### 【課題への見解】

これまでの委員会への提出資料どおり、VHFローバンドにおいても放送サービスを実施することは可能と考えており、VHFローバンドを含め35MHzの帯域を要請する。

# VHF 7chの取り扱いについて

- デジタルラジオ推進協会は、2003年10月より、関東及び近畿エリアにてVHF 7ch（188-192MHz）を利用したデジタルラジオの実用化試験放送を実施している。
- 昨年末には携帯電話型受信機が発売され、その後パソコン型の受信機が発売されるなど、デジタルラジオを受信するユーザーが増えつつある。
- このため、既存受信者保護の観点から、今後の検討項目である「周波数の配置」において、放送グループの利用周波数帯としてVHF 7chを含むことが望まれる。
- しかし、周波数有効利用の観点で、放送帯域としてVHF 7chを含まないほうが望ましいとの結論となった場合においても、既存受信者が新規帯域に移行するための期間を確保するため、「当面の間VHF 7chを放送帯域として使用すること」を要望する。